



2019 女子ハンドボール 世界選手権大会

24th IHF WOMEN'S HANDBALL
WORLD CHAMPIONSHIP KUMAMOTO/JAPAN 2019



戦況用紙

開催日	2019年 12月 2日 月曜日	試合コード	22
開催地	(都道府県名) 熊本県	会場名	パークドーム熊本

結果	A	スコア		B
	ARG	22	前半	35
12—17				
後半				
10—18				
第一延長前半				
—				
第一延長後半				
—				
第二延長前半				
—				
第二延長後半				
—				
7mc	—			
—	—			
ARG-Argentina	—	RUS-Russia		

戦況	見出し	常に優勢したRUSが勝利
	前半	ARGのスローオフで試合開始。先取点は、RUSのカットインシュート。2点目サイドシュート。さらに7mcでの3連続得点を挙げ3対0とするスタートとなった。ARGはRUSの高く硬いDFに苦戦するも1点を返す。5分過ぎ4対1とRUSがリード。6分過ぎにはARGのサイドシュート・速攻で2点連続得点を挙げ3対4の1点差に縮めた。開始10分2点差のまま攻防が続く。RUGの速攻で6対3の3点差。直後RUGは退場者を出し、失点。6対4の2点差。RUSは不正退場で2人目の退場処分を受け、CPが4人となるが、しっかり守り、GKをCPに代え得点奪い7対5とする。ARGもパワープレーで得点を挙げ、6対7の1点差にする。激しい攻防の展開の時間帯が続き、20分過ぎ11対7とRUSがこの試合初めての4点差とする。21分過ぎ、ARGはチームタイムアウトを申請。直後、2点連続得点を挙げ、追い上げを見せる。前半残り5分、再び4点差。26分過ぎ、RUSもタイムアウトを申請。RUSの速攻が決まり15対10の5点差。しかし、ARGも7mcを確実に決め、4点差とする。お互いに取り合い17対12の5点差のRUSのリードで前半を終える。
後半	後半スローオフはRUS。後半最初の得点は、ARGが7mcを確実に決め4点差とする。ARG速攻で連続得点を挙げ14対17の3点差と追い上げる展開。6分過ぎARGが一人退場。8分過ぎ、この試合初めての7点差とRUSがリード。しかし、一人退場処分。GKをCPに代え6人攻撃をするもシュートミス。GKからの直接シュートに必死で戻るCPの手に当たるものの失点。12分過ぎ、15対24となったところでARGはタイムアウトを申請。しかし、連続得点で26対15の11点差と開く。RUSはCPを入れ替え追加点を狙うが、連続失点で18対26。後半20分を過ぎたところでRUSの申請でタイムアウト。連続得点で31対18と13点差をつけた。23分過ぎ、ARGは1点を返すも失点し、タイムアウトを申請。この時点で32対19とRUSがゲームを優勢に進める。終了間際、RUSは3回目の退場処分を受けたCPにレッドカード。最終的には13点差の35対22でRUSの勝利。	



戦況作成者	牧 均
-------	-----